

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年10月31日

【評価実施概要】

| | | | |
|-------|--|-------|-------------|
| 事業所番号 | 4571600115 | | |
| 法人名 | 社会福祉法人協同福祉会 | | |
| 事業所名 | グループホームくろしお | | |
| 所在地 | 宮崎県南那珂郡南郷町大字中村乙7051-111 (電話) 0987-64-3143 | | |
| 評価機関名 | 社会福祉法人宮崎県社会福祉協議会 | | |
| 所在地 | 宮崎県宮崎市原町2番22号 | | |
| 訪問調査日 | 平成20年9月18日 | 評価確定日 | 平成20年10月31日 |

【情報提供票より】 (平成20年8月18日事業所記入)

(1) 組織概要

| | | | |
|-------|--------------|---------------------|-----|
| 開設年月日 | 昭和・平成16年4月1日 | | |
| ユニット数 | 1 ユニット | 利用定員数計 | 9 人 |
| 職員数 | 7 人 | 常勤7人, 非常勤0人, 常勤換算7人 | |

(2) 建物概要

| | | |
|------|--------|-------|
| 建物構造 | 鉄骨 造り | |
| | 1 階建ての | 1 階部分 |

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

| | | | |
|---------------------|----------|----------------|-------|
| 家賃(平均月額) | 30,000 円 | その他の経費(月額) | 実費 円 |
| 敷金 | 有(円) | 無 | |
| 保証金の有無 (入居一時金含む) | 有(円) | 有りの場合 償却の有無 | 有 / 無 |
| 食材料費 | 朝食 | 円 | 昼食 円 |
| | 夕食 | 円 | おやつ 円 |
| | または1日当たり | | 900 円 |

(4) 利用者の概要(平成20年8月18日現在)

| | | | |
|-------|---------|---------|---------|
| 利用者人数 | 9 名 | 男性 0 名 | 女性 9 名 |
| 要介護1 | 1 | 要介護2 | 1 |
| 要介護3 | 3 | 要介護4 | 2 |
| 要介護5 | 2 | 要支援2 | 0 |
| 年齢 | 平均 86 歳 | 最低 71 歳 | 最高 95 歳 |

(5) 協力医療機関

| | |
|---------|----------|
| 協力医療機関名 | 医療法人百瀬病院 |
|---------|----------|

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは南郷町の南東に位置し、母体施設と同敷地内にある。玄関が2か所あり、利用者が外出やホーム外活動のとき利用されている。食堂・居間は広々としており、ソファやいすが置かれ、利用者がゆっくりくつろげるようになっている。台所も2か所あり、ボランティアと一緒に調理や餅つきなどができるようになっている。また、浴室も2か所あり、利用者がゆっくり入れるようになっている。研修は、勤務年数ごとに研修が計画され、九州、全国大会に参加し、職員を育てる取り組みが行われている。利用者や梅干づくりやラッキョウ漬けなどの楽しみごとを共に支え合っている。利用者は落ち着いた雰囲気の中で過ごされている。

【重点項目への取組状況】

| | |
|-------|---|
| 重点項目① | 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) |
| | 前回の改善課題であった運営理念の共有、実現に向けての取り組みは日常的にホーム内で行われているが、地域へ向けての啓発・広報に取り組めていない。全職員で町の福祉祭りや小中学校の運動会、夏祭りなどに参加して地域との交流を行っている。 |
| 重点項目② | 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) |
| | 自己評価を全職員で行い、外部評価の結果は、ミーティングを行い改善に取り組んでいる |
| 重点項目③ | 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) |
| | 運営推進会議で出た意見について、職員に報告してミーティングで話し合い改善に取り組んでいる。 |
| 重点項目④ | 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) |
| | ホームの便りを発行して行事や日々の暮らしを伝えている。また、来訪時に、個別に生活状況を伝えている。金銭出納簿を明示して、定期的に捺印をいただいている。家族会や来訪などのときに伺っているが意見、不満等はない。 |
| 重点項目⑤ | 日常生活における地域と連携(関連項目:外部3) |
| | 町の福祉祭りや小・中学校の運動会、夏祭りなどに参加して地域との交流を行っている。 |

2. 評価結果 (詳細)

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------|------|---|--|----------------------|-----------------------------------|
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1. 理念の共有 | | | | | |
| 1 | 1 | ○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | 全職員が理念をいつも確認している。利用者の生活を地域の中で支えるという理念となっている。 | | |
| 2 | 2 | ○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | 理念を食堂に掲げ、朝礼で復唱してケアに生かしている。 | | |
| 2. 地域との支えあい | | | | | |
| 3 | 5 | ○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 町の福祉祭りや小・中学校の運動会、夏祭りなどに参加して地域との交流を行っている。 | | |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | | |
| 4 | 7 | ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | 自己評価を全職員で行い、外部評価の結果は、ミーティングを行い改善に取り組んでいる。 | | |

宮崎県南郷町 グループホームくろしお

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|------------------------|------|--|---|----------------------|--|
| 5 | 8 | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 運営推進会議で出た意見について、職員に報告してミーティングで話し合い改善へ取り組んでいる。 | | |
| 6 | 9 | ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | ホームの運営などについて町に出向いたり、電話連絡をしたりして、意見交換を行ってサービスの向上に取り組んでいる。 | | |
| 4. 理念を実践するための体制 | | | | | |
| 7 | 14 | ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている | ホームの便りを発行し、行事や日々の暮らしを伝えている。また、来訪の時、個別に生活状況を伝えている。金銭出納簿を明示して、定期的に捺印をいただいている。 | | |
| 8 | 15 | ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 家族会や来訪などの時に家族から意見・不満等を伺っている。しかし、意見・不満等はない。 | ○ | 家族会などで第三者委員や民生委員を活用して家族の意見や不満等を出せる機会を設けてほしい。 |
| 9 | 18 | ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 職員の異動等により利用者の不安等を考えて、できる限り異動等は行わないようにしている。異動等は少ない。異動等の時は、昼食時に送別会を行い、利用者には不安等がないようにしている。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------------|------|---|---|----------------------|----------------------------------|
| 5. 人材の育成と支援 | | | | | |
| 10 | 19 | ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 勤務年数ごとの研修や毎月の法人の研修会、九州大会、全国研究大会などに参加する機会が多い。また、研修報告を行い参加できなかった職員に伝えている。 | | |
| 11 | 20 | ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | グループホーム連絡協議会のブロック会議に参加して、職員との意見交換や交流を行って、サービスの質の向上を行っている。 | | |
| Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | | | |
| 12 | 26 | ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 本人、家族がホームを見学・納得していただき利用に移行している。 | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | | |
| 13 | 27 | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | 草取り、梅干作り、ラッキョウ漬けなど利用者に教えてもらい一緒に行って、お互い支え合う関係を築いている。 | | |


| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---------------------------------------|------|---|--|----------------------|-----------------------------------|
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | | | |
| 14 | 33 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | アセスメントを行った時や家族の来訪、受診介助などで来られた時に情報を得ている。 | | |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | | |
| 15 | 36 | ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している | 職員には、ミーティングやカンファレンスで意見等を出してもらい、家族には来訪や受診等の時に意見を聞いて介護計画書を作成している。 | | |
| 16 | 37 | ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 定期的見直しは6か月で行っている。身体状態などが変化した時にはその都度見直しを行っている。また、サービス担当者会議には、家族が必ず参加している。 | | |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | | |
| 17 | 39 | ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | 病院受診、墓参り、理美容などは家族が対応しているが、家族が対応できない時は、職員が支援している。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------------|------|---|--|----------------------|-----------------------------------|
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | | |
| 18 | 43 | ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 本人、家族が希望されているかかりつけ医となっている。病院受診は、家族が対応しているが、家族が対応できない時は、職員が対応して、受診結果はその日に家族に連絡している。 | | |
| 19 | 47 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 契約後のプラン作成時に家族に終末期について意見を伺い、家族の意向を確認して対応している。 | | |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | | | |
| (1)一人ひとりの尊重 | | | | | |
| 20 | 50 | ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | 個人情報保護法の勉強会を行い、プライバシーについて徹底した対応を行っている。 | | |
| 21 | 52 | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 基本的な一日の日課はあるが、利用者の希望により食事や入浴時間などを遅くしたり、一人ひとりの状態に配慮されている。 | | |

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|--------------------------------------|------|---|--|----------------------|----------------------------------|
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | | | |
| 22 | 54 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている | 食事は、利用者と職員が一緒にテーブルを囲み、会話をしたり、介助しながら楽しくゆっくりと食事できるように雰囲気づくりを行っている。 | | |
| 23 | 57 | ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 入浴は、週4日で他の日は清拭を行っている。浴室が2か所あり利用者がゆっくり入れるようになっている。また、利用者の希望を聞き、夕食後入浴する方もいる。 | | |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | | |
| 24 | 59 | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 草取り、梅干作り、ラッキョウ漬けなど利用者の経験を発揮する場面を作っている。また、小旅行や地域の行事に参加して楽しみごとを支援している。 | | |
| 25 | 61 | ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | 散歩や買い物など利用者の希望や楽しみごとに合わせて外出を支援している。 | | |
| (4) 安心と安全を支える支援 | | | | | |
| 26 | 66 | ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | 以前は、すべて鍵を掛けていなかったが、猿が家に入ることがあり、町からの指導で玄関以外は鍵を掛けている。日中、玄関に鍵を掛けずに自由に出はいることができるように支援している。 | | |

宮崎県南郷町 グループホームくろしお

| 外部評価 | 自己評価 | 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取り組みを期待したい項目) | 取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------------|------|---|--|----------------------|----------------------------------|
| 27 | 71 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | 毎月、利用者の避難訓練を行っている。また、年2回法人全体で地元消防団、地域の方も参加して総合防災訓練を行っている。マニュアルも作成されている。 | | |
| (5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | | |
| 28 | 77 | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 食事摂取量、水分摂取量のチェック表があり、毎日記録し、職員間で共有している。また、食事については、定期的に栄養士に専門的アドバイスをもらっている。 | | |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | | |
| (1)居心地のよい環境づくり | | | | | |
| 29 | 81 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 食堂・居間は広く、天窓があり、ソファやいすが置かれゆっくりとくつろげる。台所が2か所あり、利用者がボランティアと一緒に調理ができるようになっている。また、玄関も2か所あり利用者の外出がスムーズにしやすいようになっている。 | | |
| 30 | 83 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 居室には、冷蔵庫、たんす、テレビ、家族の写真、ホームの運動会の表彰状などが置かれ、利用者の居心地の良ように配慮されている。 | | |

※  は、重点項目。